

5Gの実用化には通信タワーの拡充が必要

2019年4月12日

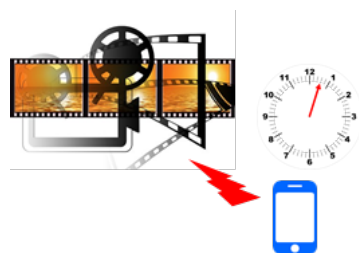
「4G」は通信を変えた。「5G」は生活を変える。

4Gと5Gの違い 5Gは4Gより、超高速・大容量な通信を可能にし、通信遅延は4Gの10分の1とされています。また、多数同時接続も可能になります。これが実現することで、私たちの生活がますます便利になると考えられます。また、車等の自動運転の実用化も早まります。5Gでは、通信遅延が著しく改善するため、時速100kmで走行中にブレーキをかけた場合、通信遅延による制動距離への影響は4Gで30cmあるのに対して、5Gでは3cmと著しく改善が見込まれ、実用化をさらに進めることが期待できます。

5Gの能力をフル活用するため、基地局増設は続く

5Gでは、従来の4GLTEの帯域に近い周波数帯に加え、広帯域で超高速通信に適した高周波数帯の電波が使用されます。高周波数帯の電波は直線的に進むため、高層ビル等に遮られやすいため遠くまで届きません。そのため、通信タワーをはじめとする無線基地局を高密度、かつ膨大な数を設置する必要があります。総務省は4月10日、全国を10km四方の4,500区画に分けて、その50%以上に5年以内に基地局を置くことを発表しました。商用サービスがスタートしてからも、5Gの能力をフル活用するためには基地局を増設する必要があります。

5Gで生活がますます便利に



2時間映画のダウンロードは5Gだと3秒で完了！

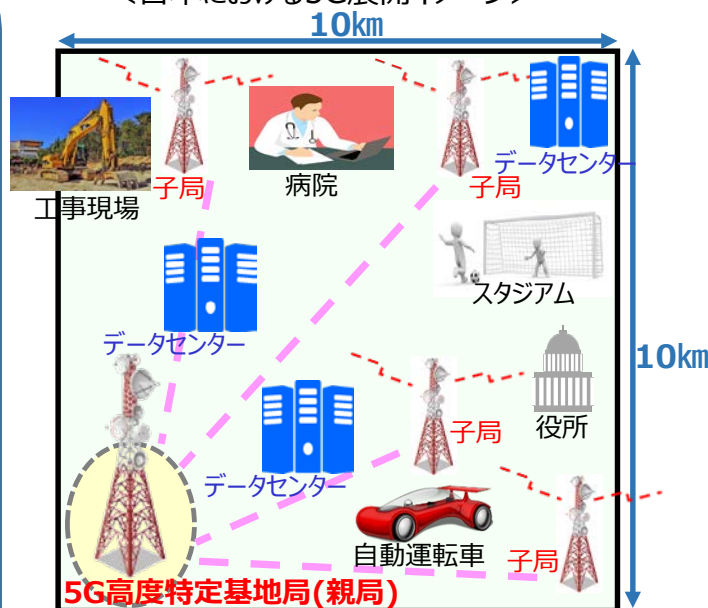


時速500kmで高速移動しても安定的な通信が可能



8K映像の視聴も可能に！
8Kは4Kの4倍も繊細な画質！

<日本における5G展開イメージ>



写真等はイメージです。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会